

# ひまねき

警固屋学園通信  
第74号  
28.9.6  
発行

## 八年生 職場体験学習を終えて

八月二十二日から二十六日まで、八年生は職場体験学習を実施しました。これは呉市の中学二年生が毎年一斉に行っている「呉市キャリア・スタート・ウィーク」で、生徒が事業所等の職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。本校の八年生も、警固屋地区内を中心に、十五カ所の事業所でお世話になりました。



初日は緊張して声が小さかったり、昼食が食べられなかったりした生徒もいましたが、二日目三日目と日が経つにつれ、徐々に仕事にも職場にも慣れ、少しずつ周囲の様子も仕事の要領もわかるようになりました。

同じ姿勢でずっといるので、腰や足が痛くなったりしたようですが、そんなことも含めて、仕事の大変さと楽しさを知ることができました。職場の方々と会話することで新しいエネルギーをもらった日々でした。大変お世話になりました。

### 職場体験を終えて

- ◇ふれあいは 年の差あっても 関係ない
- ◇将来の 夢に向けての 第一歩
- ◇子どもから 元気をもらった 五日間
- ◇働く意味 責任もって やり遂げる
- ◇子どもたち あっという間に うちとけた
- ◇声を出す これも大事な 仕事です

### 職場体験を終えて

私がうれしかったことは、生活の中でも活かせることをたくさん学べたことです。どの仕事もまちがえてはいけないうち大切な仕事なので緊張もありましたが、私も大切な仕事に関われていると思うと、少し自信になりました。私はこの五日間は思った以上に大変でした。でも、毎日たくさん発見をすることができました。私は、改めて「働く」ということを考えると、やはり経済面はあると思いますが、人と接する仕事をさせていたただいたので、相手のためにということが、経済面と同じくらい大切なことだと思いました。お客様が「ありがとう」と一言おっしゃるその言葉がとても心に残りました。



## 地域の方と一緒に、避難所体験!

七月二十三日から二十四日にかけて、警屋体育館・警固屋まちづくりセンターで宿泊しながらの避難所体験がありました。この行事に警固屋学園の小学生二十五名、中学生九名が参加しました。



ピザを焼くためのオーブンを作っています。

段ボールで休息・就寝スペースを作ったり、災害支援のボランティアに行かれた方の話を聞いたりしました。夕食には非常食を試食したり、翌日の朝食では、段ボールで作ったオーブンで焼いたピザを食べたりしました。

災害支援のボランティアに行かれた方の話を聞きました。



万が一災害が起きたときには、地域の方と協力して安全に避難することができるよう備えていくことが大切です。警固屋学園でも、十一月二十九日に地域の方と合同で防災訓練を行います。御協力よろしくお願いいたします。

避難所体験をしてみて、実際にはどのように地域の人と協力していったらいいかがわかりました。特にボランティアに行かれた方の話が残りました。行ってよかったです。(八年生)

## 確認しよう! 「指定避難所」

「指定避難所」の看板を見かけましたか。どのような災害の時に、その避難所が使用できるのかが示されています。

警固屋中学校の「指定避難所」の看板です。

じしん 地震 Earthquake	どしゃ 土砂 Debris flow	つなみ 津波 Tsunami	たかしお 高潮 Storm surges	こうづい 洪水 Flood from river
	(2階以上)	(3階以上)		

どのような災害の時に利用できるのか、示されています。



警固屋中学校の場合は、洪水・高潮・津波(三階以上)・土砂(二階以上)・地震の時に、避難場所として使用できます。避難場所によっては、災害の種類により使用できない所(災害の図の下に×がついています)もあるので、注意しましょう。日頃から指定避難所の看板を見て、確認しておきましょう。

## 《編集後記》

今年の夏は特に暑さが厳しかったですね。九月に入り、ようやく朝夕涼しさを感じるようになり、ほっとしました。季節の変わり目です。お体にお気をつけください。

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当します。